

2025 年 10 月 20 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

オンプレミス環境に構築する生成 AI 基盤サービス「CUVIC GPU Zero」を開始 AI エージェント開発機能もワンパッケージで提供し機密データを安全に活用

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、機密データを安全に活用できる生成 AI 基盤サービス「CUVIC GPU Zero」の提供を開始します。閉域網によるセキュアなオンプレミス環境を構築し、運用も含めたフルマネージド型のサービスとして提供します。自社データの漏洩リスクを抑えながら安全に生成 AI を利用するための基盤で、GPU を搭載した AI 専用のハードウェアと AI エージェントの開発機能を備えています。価格は、初期費用 150 万円、月額 75 万円(税抜き)からで、AI エージェントの自社開発を目指す企業を中心に展開し、3 年間で 30 件の受注を目指します。

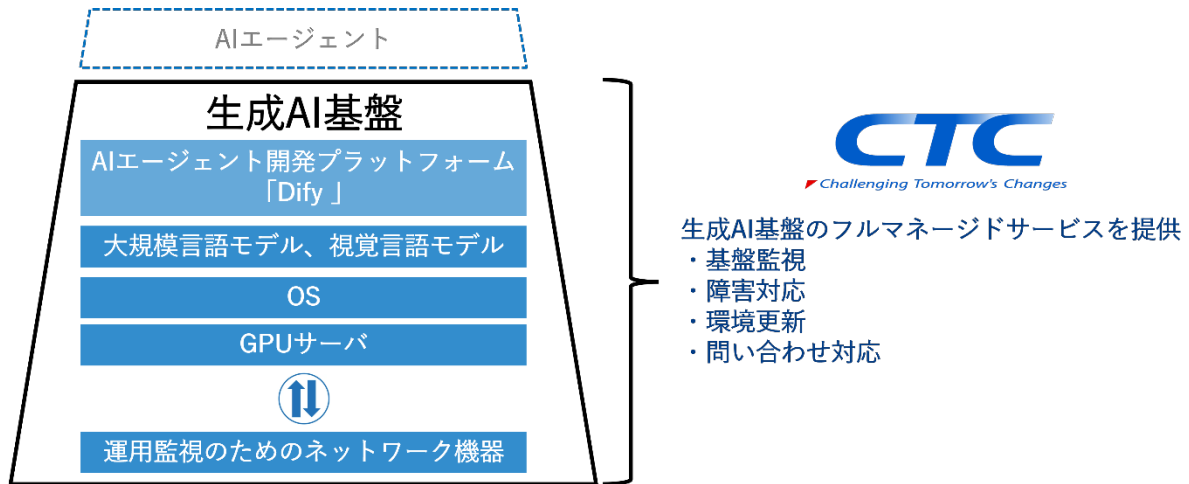
近年、企業での生成 AI の活用が広がる中、機密情報や業務データなどの自社データを安全に扱える環境は限られており、自社専用の AI 基盤へのニーズが高まっています。しかし、オンプレミスの AI 基盤の構築には、大量の GPU サーバや周辺機器の調達、構築、保守運用にかかる費用や人員の確保など、多くの投資が必要となる場合があります。

CUVIC GPU Zero は、NVIDIA 社の GPU を搭載した AI 専用のハードウェア、AI エージェントの開発機能を備えた基盤に、運用のためのネットワーク環境や監視、障害対応、バージョンアップなどを付加したマネージドサービスで、CTC がお客様に代わり機器の調達、構築、保守運用を行います。また、オンプレミス環境を構築することで、漏洩リスクを抑えた状態で自社の機密情報や業務データを安全に利用できます。50 名規模の同時利用に対応しており、複数部門での活用も可能です。大規模言語モデルや視覚言語モデル^{※1}を搭載しており、長文の生成や構造化データの理解に加えて、チャートやグラフなどの画像も高精度に読み取ることができます。さらに、ノーコードで AI エージェントを開発できる「Dify」を実装しており、プログラム開発の知識がない事業部門でも迅速に自社の業務に特化した AI エージェントを開発できます。

CTC は、大規模なインフラ構築の実績と、多様な業種での AI モデルの設計や活用に関する経験を活かして、GPU の最適化やオンプレミス環境の設計、構築、基盤の監視や障害対応、ソフトウェアや AI モデルの定期更新も担います。

今後、利用する規模や部門の拡大に応じて、GPU サーバや回線サービス、新たな LLM の追加を含めてサービスをさらに強化します。製造業における生産計画や設備保全、金融業の取引分析やリスク管理など、業界ごとの課題に対応できる AI エージェントの開発も支援し、より多くの企業が自社の業務に合わせて安心して生成 AI を活用できる環境を提供していきます。

<CUVIC GPU Zero のイメージ>



- ※1 視覚言語モデル:「Vision-Language Model, VLM」、画像や映像などの視覚情報とテキスト情報を同時に理解・処理できる AI モデル。
- ※ その他、記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp